



沃野乃学舎

白河市立五箇小学校 学校だより

No7

令和5年5月19日(金)

発行:校長 鈴木 純子

奉仕作業ありがとうございました

5月13日(土)に行われました奉仕作業には、早朝にも関わらず、多くの保護者の方々に参加していただきまして本当にありがとうございました。また、児童の参加を広く呼びかけましたところ、1年生から6年生までたくさんの児童が参加し、お家の方や友達と一緒に作業できたことは大変よい経験になったと思います。草刈りも多くの方に行っていただき、校庭や校舎裏の土手が大変きれいになりました。最後には、樹木消毒も行っていました。お陰様で、整備された校庭で運動会を実施することができます。感謝申し上げます。ありがとうございました。

さらに、校庭の土に埋もれていた古い釘を見つけてくださった方もおりました。後日、市より金属探知機をお借りして古い釘を取り除きました。ありがとうございました。



関辺小との合同田植え体験

今年度も入方ファーム様のご協力により、関辺小学校5年生との合同田植え体験授業を実施することができました。ありがとうございました。

入方ファーム代表の薄井惣吉様より、農業の重要性をお話いただいてから、苗の植え方を教わりました。はじめは長靴を履いていた子も、田んぼに入ると長靴は動きづらいことに気づき、裸足になり田植えをしていました。「先生、別な田んぼもやりたいなあ。」というつぶやき。「苗がたりません。」という声に、苗代から苗をちぎり、投げ入れる子ども達。「昔の田植えは大変だったんだね。」という実感の伴った田植え体験学習となりました。

最後に、薄井様から「ご飯一杯の値段はどのくらいだと思いますか。」という質問に、「500円」「1500円」という予想が子ども達から出されました。「一杯30円」という回答に、子ども達は大変驚いていました。

この体験をスタートに、5年生では農業や食料生産、工業、地球環境などの学習を行います。教科だけでなく、実感を伴った学習を行うことができるありがたさを感じました。

